

豪溪クライミングガイド

編集 岡山県山岳・スポーツクライミング連盟所属
岡山フリークライミングクラブ (OFCC)



注意とお願い

1. クライミングエリアの麓の豪溪寺に、立ち入りのお願いをしたところ下記を守るということで許可をいただきました。
 - ① 天柱山は修験道の行場でした。行のための鎖等が設置されていますが、老朽化して危険ですので触らないで下さい。
 - ② 山道の草木に隠れた場所にも石像等があります。壊さないで下さい。
 - ③ 事前に電話で連絡して下さい。寺の行事等で境内の通過をお断りする場合があります。

※許可の条件は、厳守したいので協力をお願いします。

ミルキークリフエリアに入山される場合は、数日前にメール (joe-yama@mua.biglobe.ne.jp) に連絡を下さい。

電話での連絡は OFCC の山本が、取りまとめて行います。連絡は、お気軽にどうぞ。
2. 天柱山は山の崩壊が進み危険なので現在は登山禁止の標識がだされています。
3. 豪溪案内所には、車を止めないようにしましょう。すぐ南に総社市の駐車場があります。
4. 9月中旬から11月下旬までは、立ち入り禁止になります。松茸山のため利権者以外は入山できないためです。

はじめに

豪溪は、岡山県総社市にある紅葉と奇岩が売りのささやかな観光地。

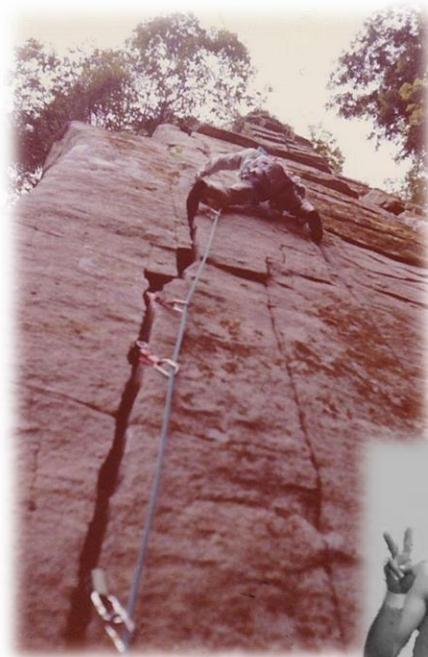
小さな練習用のクライミングエリアをゲレンデという和製ドイツ語で呼んでいた 40 年以上も昔は、岡山のクライマーによく知られた存在だった。今でもその時代に打ち込まれた錆びついたピトン見かけることがある。ゲレンデという時代が終わった後、1980 年代の初頭には、クラッククライミングのエリアとしてよく利用されていたが、それも何時の間にか、スポーツクライミングの全盛時代になり、30 年以上も忘れられたエリアになってしまいました。

豪溪では、三倉でも、大堂海岸でも、名張でも、小川山でもちゃんと通じるクライミングテクニックを学べていました。そんな伝統と歴史を、セピア色の写真の中に留めているだけなのは、もったいないし、若いトラジショナルなクライマーから豪溪のことを聞かれることも徐々に増えたので思い切って再整備することにしました。

2017 年の夏に、豪溪寺に挨拶をして整備を始めたところ、意外と多くのクライマーに手伝っていただいて。順調にかつてのルートを復元し、さらに新しいルートを追加することができました。

このガイドは、「岩と雪 111 号」に発表されものをベースに、再整備に合わせて追加修正しました。

2018 年夏 山本譲



セピア色の写真

1980 年代のクライマー

プロテクションはヘキサセントリック



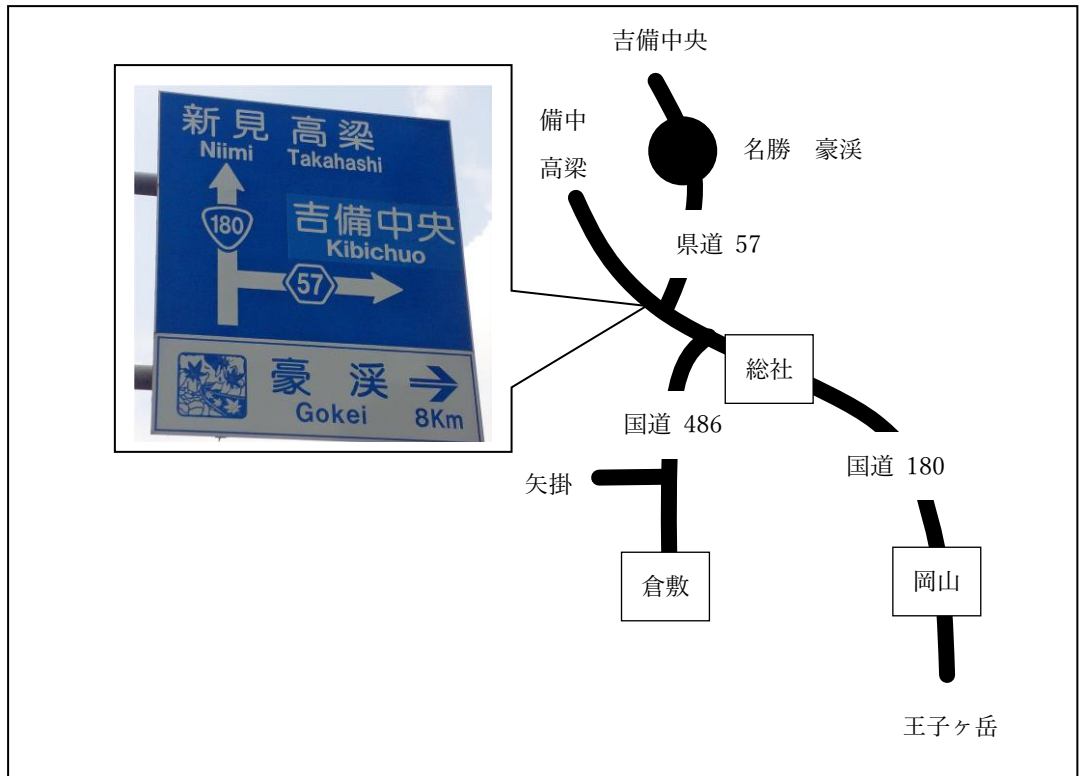
2010 年代

若いトラジショナルなクライマー

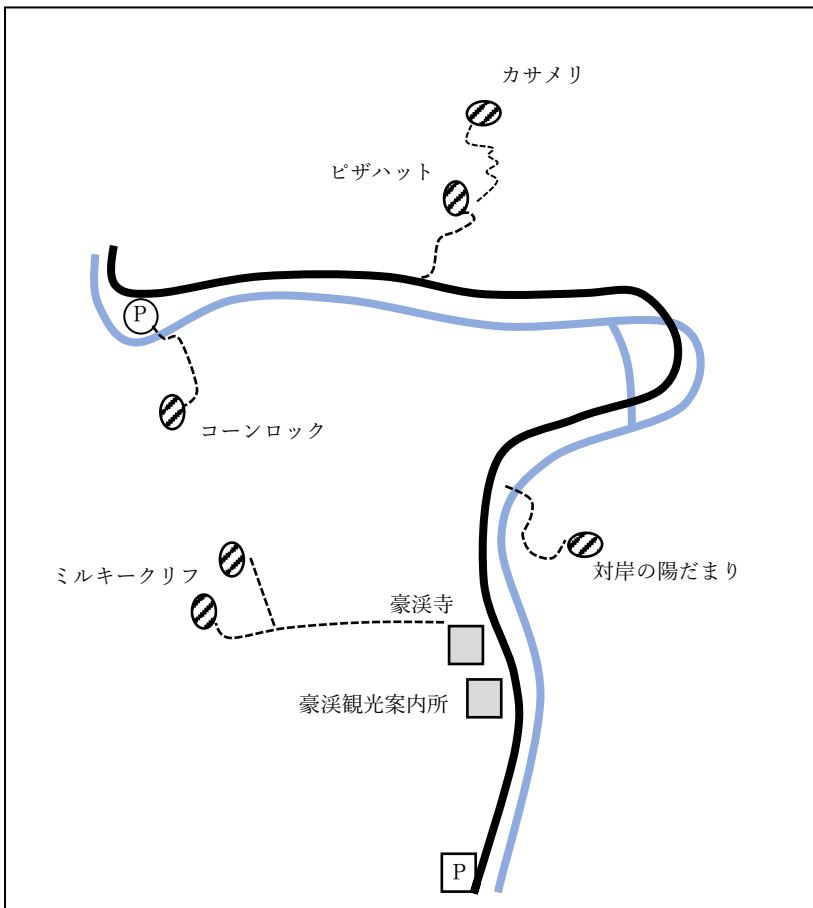
アクセス

総社中心部から国道 180 号線を新見・高橋方面へ 4Km。明治橋交差点を吉備中央方面へ。

県道 57 号線を 8Km で紅葉の名勝地 豪溪へ。



豪溪の周辺



シーズン

春と秋がベストシーズン。夏は暑く、冬は寒い。

夏の谷筋は、マムシに注意。

エリアの概要

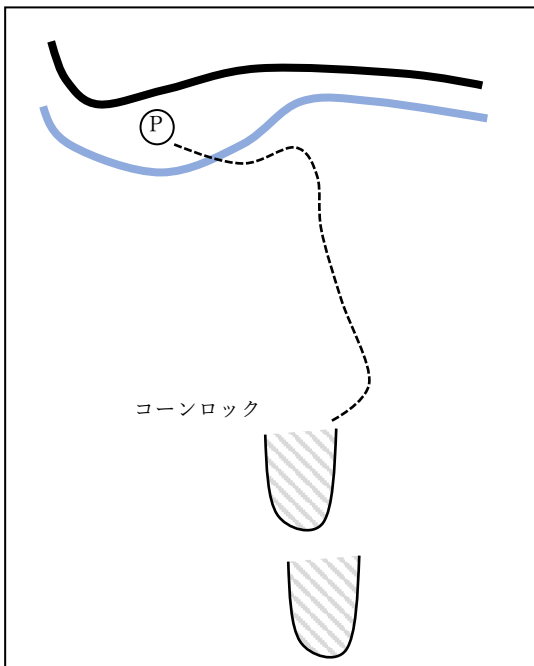
豪溪は、奇岩と紅葉で知られた溪谷の観光地。溪谷周辺の岩塔がクライミングの対象。それぞれの岩塔毎にエリアが分かれている。

ミルクークリフがメイン。豪溪寺というお寺の境内を通り抜けるので事前に連絡が必要。

コーンロック、ピザハットとカナメリは、小さなエリア。ただ、アプローチは短くコンパクト。また近くにスポーツクライミングのエリアもある。ピザハットとカナメリは、南向きのため夏は暑い。

対岸の陽だまりは、初心者向けの左岸壁と 5.11 台ルートがある中央壁がある。南向きのため冬でも暖かい。

コーンロック



駐車場から、真南に見える岩塔のその下に見えろ岩塔が、コーンロック。川を渡り、20~30m 左側から急登を僅かな踏みあとを頼りに直登。最後を右斜めに登って、約5分でコーンロックの左側に着く。

① ソングブック (5.10d 11m 小さいSC0.3~41セット 終了点あり)

シンからオフウィズまで徐々に広がっているクラック。

クラックの外にもホールドを求められる。

階段状のオフウィズが核心。

僅か10m 余りだがシンからワイドまでクラックの総合力が必要。

クラックの外にもホールドがあるのでフェースムーブでも登れるが、それでもワイドクラックが未経験のジムクライマーは、99%登れないかもね。

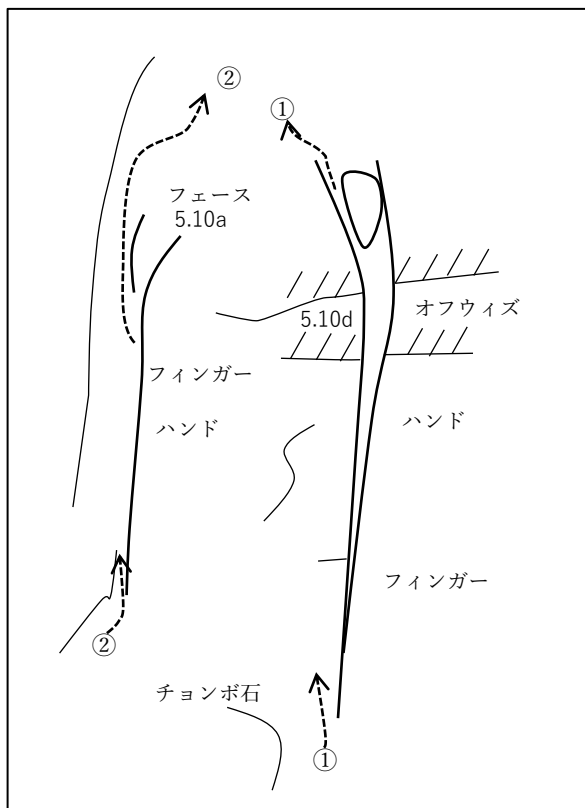
(1982/11 平松啓伸 安井博志 生田悦子)

② ファーストステージ(5,10a 11m C0.3~21セット 終了点あり)

左側の1段上からスタート。

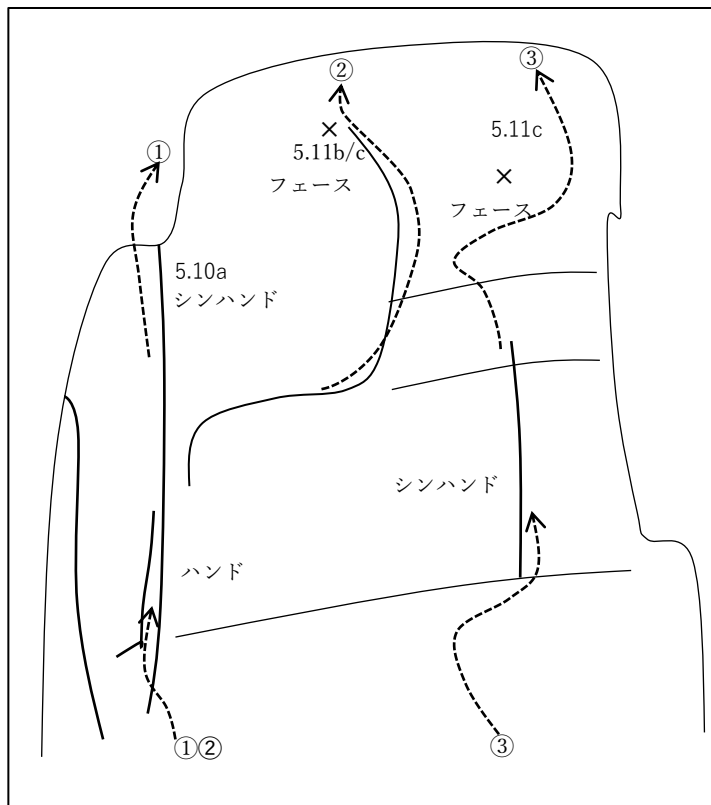
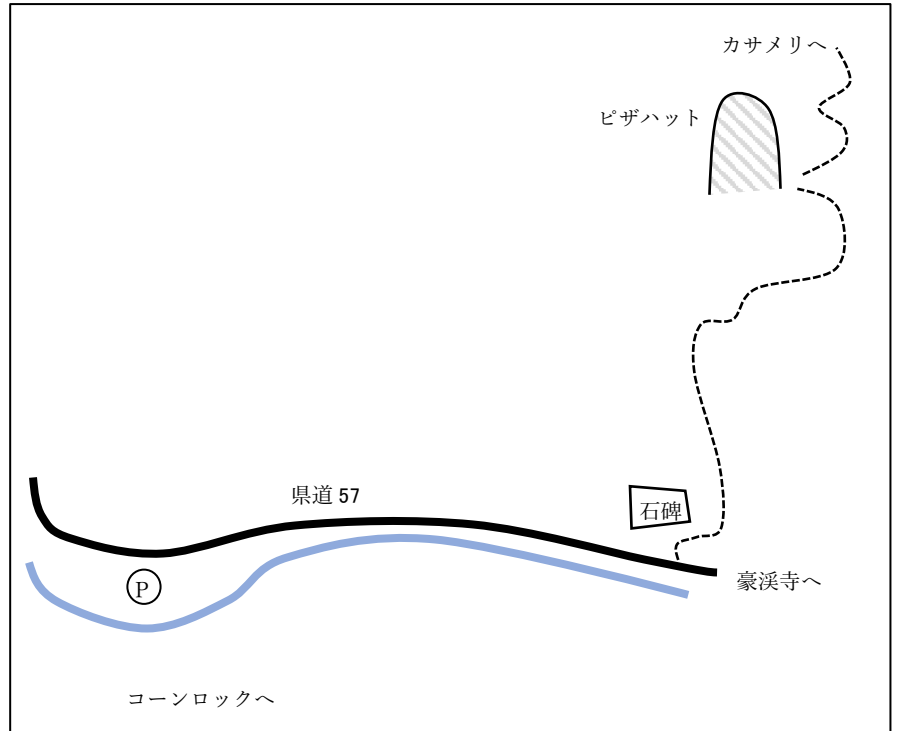
クラックと左のフェースの両方を使い登る。最後はフェース。

(2017/12 山本譲)



ピザハット

コーンロックの駐車場から、豪溪寺の方へ200m程戻る。道脇の上にある石碑の右側から僅かな踏み跡を登り、約5分でピザハットの左側に着く。



- ① コルニチョーネ (5.10a 9m C0.3~21 セット 終了点あり)
左端のクラックを直上する。終了点手前の棚に乗り込む所が核心。
(2018/8 深谷真明)
- ② カプリチョーザ(5.11b/c C0.4~21 セット B1 11m 終了点あり)
①と同じクラックから取り付き、バンドを右にトラバースし中央の浅いコーナーの両側のホールドを使って登る。
(2019/3 河田純一)
- ③ ハーフ&ハーフ (5.11c 11m C0.3~12 セット B1 終了点あり)
下部は、シンハンドからオフフィンガーの悪いサイズのクラック。上部は、ボルダーチックなフェース。
(2018/8 木村伸介 山本譲)

カサメリ

ピザハットから、さらに急騰を3分程登るとレーザーエッジの正面に着く。

① レーザーエッジ (5.11d 10m B4 終了点あり)

エッジの両側のカチを使って登るスポーティなルート。

瑞牆山のカサメリ沢にあるレーザーエッジに似ていると言われれば、もそうかしれない。

(2018/10 木村伸介)

② メザシ (5.10a/b 10m B5 終了点あり)

正面から取り付き、一旦右に立ち込んでから甘いエッジを登る。

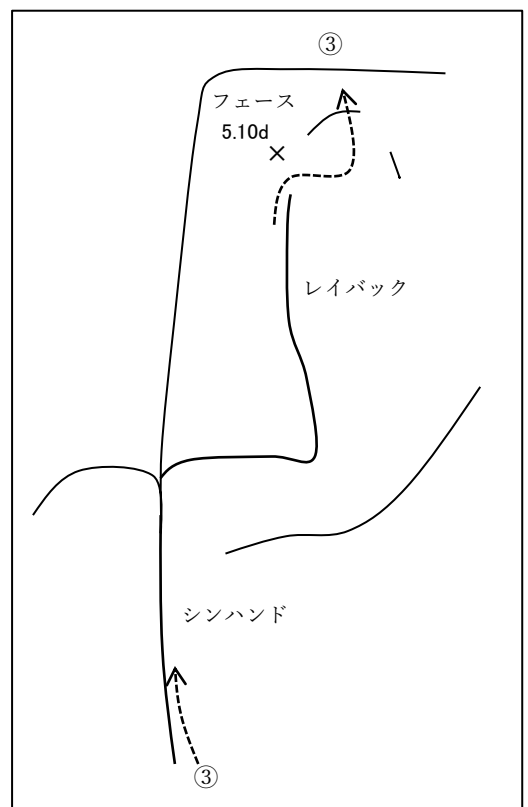
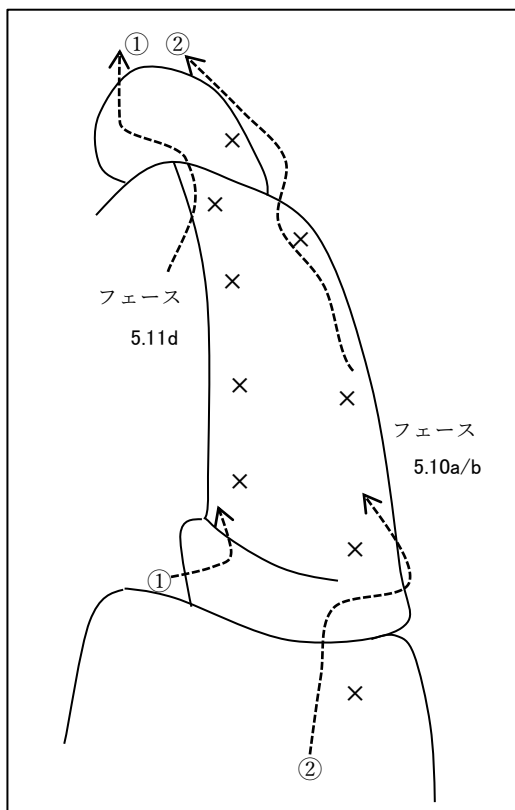
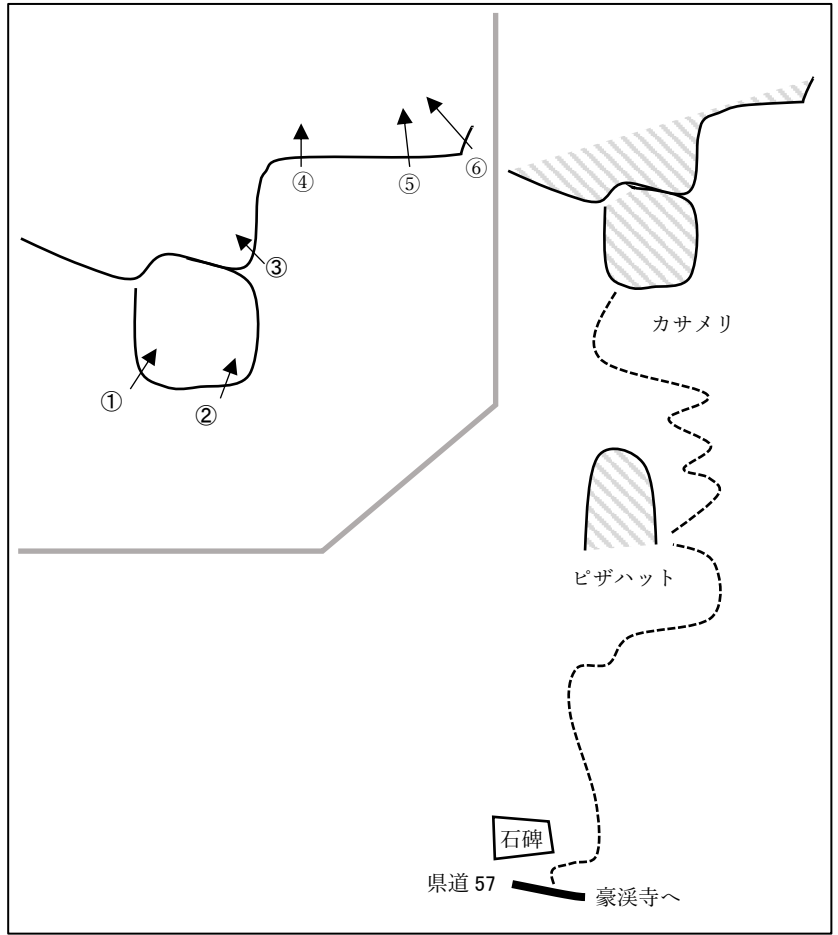
身長が低いと悪く感じるかもしれない。

(2018/10 山本譲)

③ Motive Force (5.10d 12m C0.1~1 1セット B1 終了点あり)

左側のクラックから取り付き、右にトラバース、中央のクラックをレイバックで登る。クラックが途切れたところからが核心。

(2018/10 木村宏之)



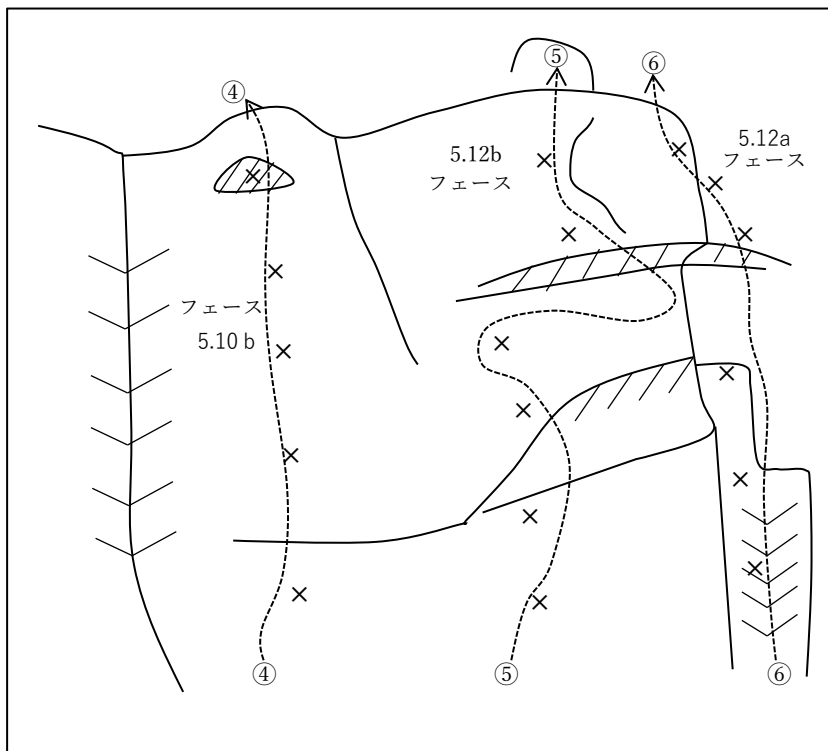
- ④ またしても(5.10a B5 12m 終了点あり)
一段上の棚から取り付く。左側のフェースを直上する。

(2019/9 深谷真明)

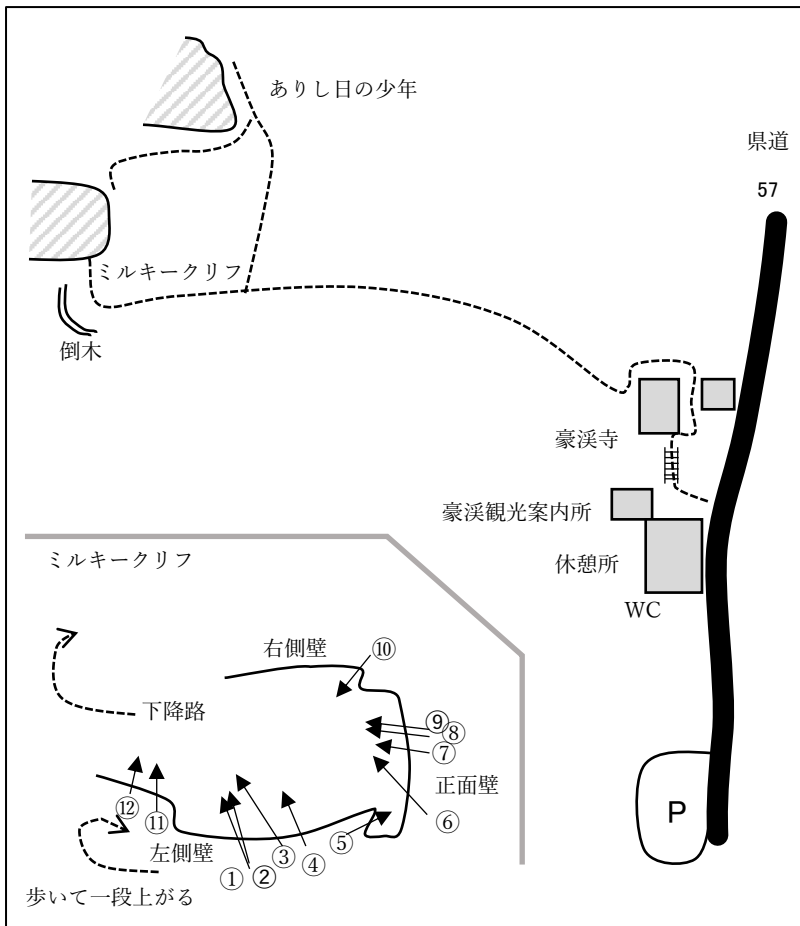
- ⑤ ミステリアス(5.12b B6 12m 終了点あり)
一段上の棚から取り付く。左に右にと、読みにくいミステリアスなライン。最後の核心のムーブもさらにミステリアス。

(2019/1 木村伸介)

- ⑥ フェニックス(5.12a B6 12m 終了点あり)
一段上の棚から取り付く。取りつきは、右端の微妙なコーナー。テラスからリッジを直上する。



ミルククリフ

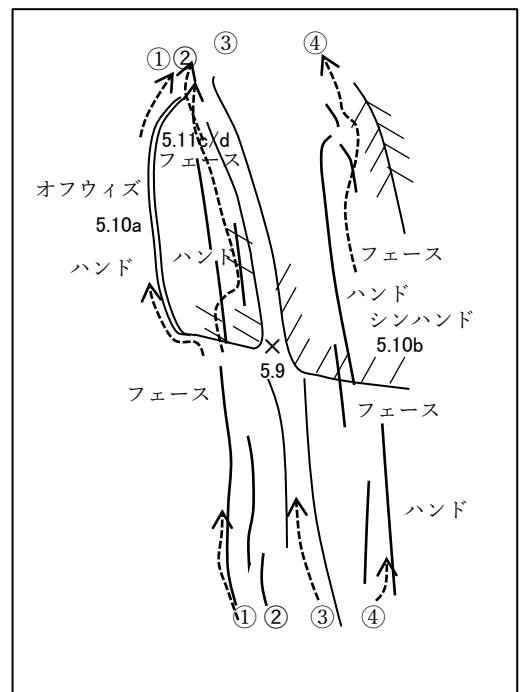


豪溪寺の階段を登り境内の右側から裏に廻る。(左側には、禁止。下降時にも間違えないように。)

本殿に沿って山側に進み、簡易水道沿いに谷に入る。谷沿いの踏み跡を10分ほど登り倒木が横たわっている所数メートル手前を右に折れる。15mほどでミルククリフの左側壁につきあたる。途中の倒木が横たわっている50m程手前を右に折れて壁沿いに少し登った所がありし日の少年壁。

左岸壁

- ① Leftovers (5.10a C0.3~4 2セット C5 25m 終了点あり)
下部は、数条のクラックを登り、小ハング下を左にトラバース。ハンドから体が入るサイズになり、テラスに乗り上げて終了。
(2018/4 治部剛)
- ② 鬼嫁登攀道 (5.11c/d C0.3~4 2セット 25m 終了点あり)
Leftovers と同じ下部を登り小ハングを直上する。右のクラックと直上する途切れ途切れのクラックを使いながら Leftovers と同じテラスで終了する。
(2018/5 木村伸介)
- ③ ジャスト・ロマンス・ツディ (5.9 30m 未整備)
左岸壁の顕著な凹角を直上するルート。残置支点や終了点を含めて再整備されていないので注意。
初登は、大阪の伝説のクライマー丸山浩之。
(1983/1 丸山浩之 小笠原忠彦)
- ④ キャバレ (5.10b C0,3~3 2セット 30m 終了点あり)
ジャスト・ロマンス・ツディの右のクラックから取り付く。
ハンドクラックを登り、さらにクラックの閉じたフェースを直上。
ルーフ下のフットホールドに一度立ち、フレアーしたシンハンドのクラック抜けるところが核心。上部は右のフェイスホール드가利用できる。ルーフ下で小さなカムかストッパーがあればこころ強い。
(1982/11 平松啓伸 生田悦子)



⑤ ヒート・デス (5.10d 10m C0.3~1 1 セット+ C0.75×2 + C1 終了点あり)

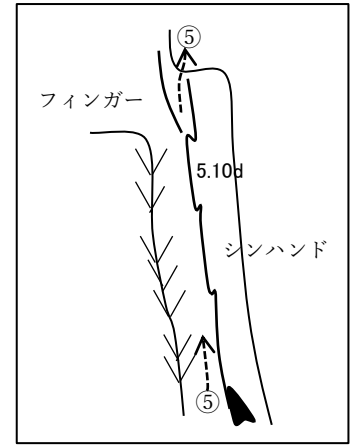
シンハンドのプラクティスルート。

垂直のきれいなクラックだが、惜しむらくは足を左に延ばすと隣のコーナーに届いてしまう。

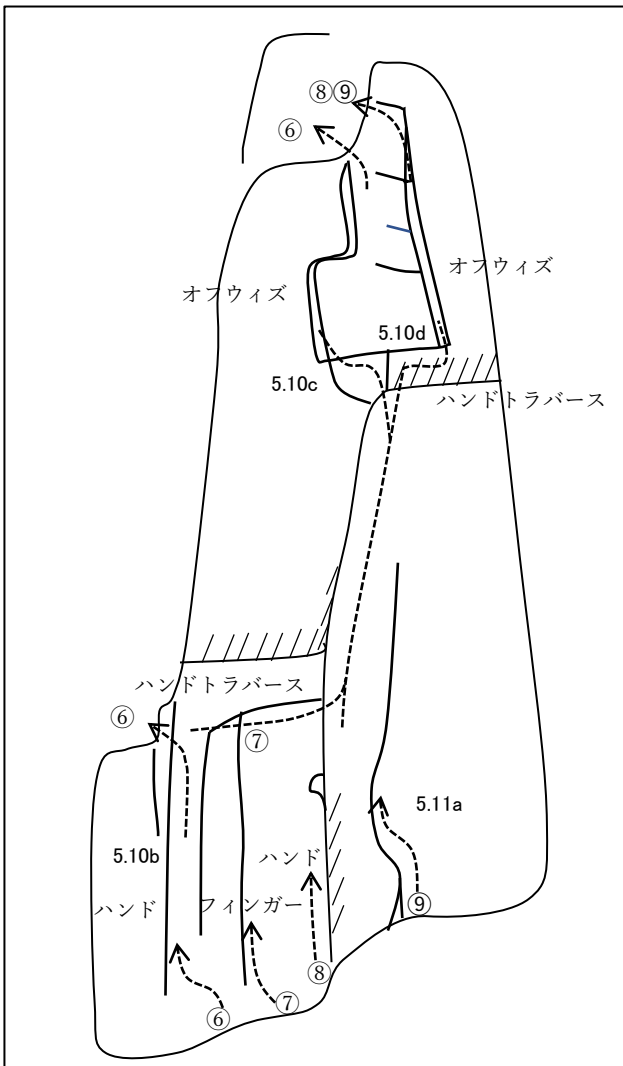
あえて、クラックのみで登ってのグレード、ヨセミテのテールズ・オブ・ザ・パワー

(5.12b) の核心より難しい?

(1984/12 山本譲)



正面壁



⑥ ヒート・オブ・ザ・モーメント (5.10b 35m 2P 終了点あり)

左端のクラックを登って左の肩に出る。右のクラックを利用するとよい。(1P 5.10b 10m C0.3~2 1 セット+ C1×2 + C2 終了点あり)

ここから水平クラックを右にハンドトラバースして中央のクラックへ。これを直上。途中小さなルーフを越える部分が核心。左へハンドトラバースし、オフウィズから右へ抜ける。⑧からスタートして1Pでも可能。(2P 5.10c 25m S1 セット C0.3~3 2 セット+ C5)

(1983/1 山本譲 平松啓伸)

⑦ オーバー・ヒート (5.11c 5m 終了点あり)

指も入らないほどのシンクラック。

プロテクションもとりにづらい。グレードはトップロープのもの。

(1984/12 山本譲)

⑧ 解放されたエントロピー (5.10d 35m S1 セット C0.3~3 2 セット+ C4~5 終了点あり)

中央のクラックを直上。チョックストーンを乗り越えて⑥に合流。ルーフを越えて水平クラックを右にトラバース。

トラバースからオフウィズに入るのが核心。

オフウィズがハンドになり、消えるところまで登り、そこからの左へトラバースして終了。ロープの流れに注意。

(1984/12 山本譲 宮原国光)

⑨ RonR (5.11a R 35m 極小 S C0.1~2 2 セット+ C3~5 終了点あり)

解放されたエントロピーのバリエーションスタート。

右のクラックからスタートして途中で合流する。細かいクラックでプロテクションを取るのが精神的核心。

(2018/5 山本譲)

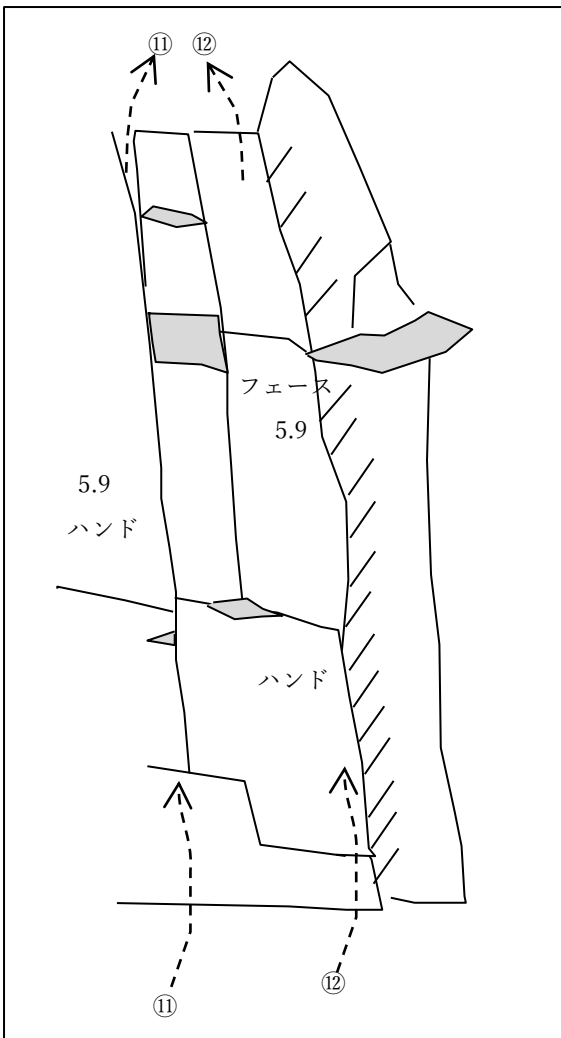
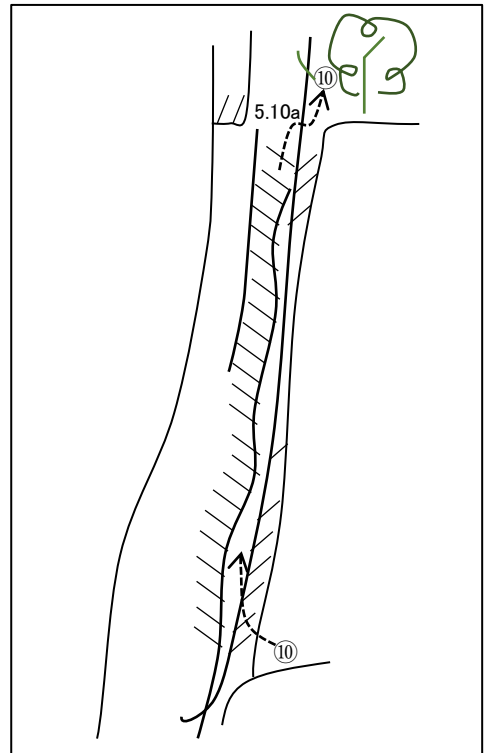
右岸壁

⑩ 一週間の夢 (5.10a 20m C0.3~5 +C5 終了点あり)

コーナー沿いに広くなったり狭くなったりするチムニーを登り、最後はハンドクラックでレッジに立つ。

ワイドクラックの入門。

(2017/8 仲井雄祐)



⑪ ふうちょう (5.9 10m C0.5~4 終了点あり)

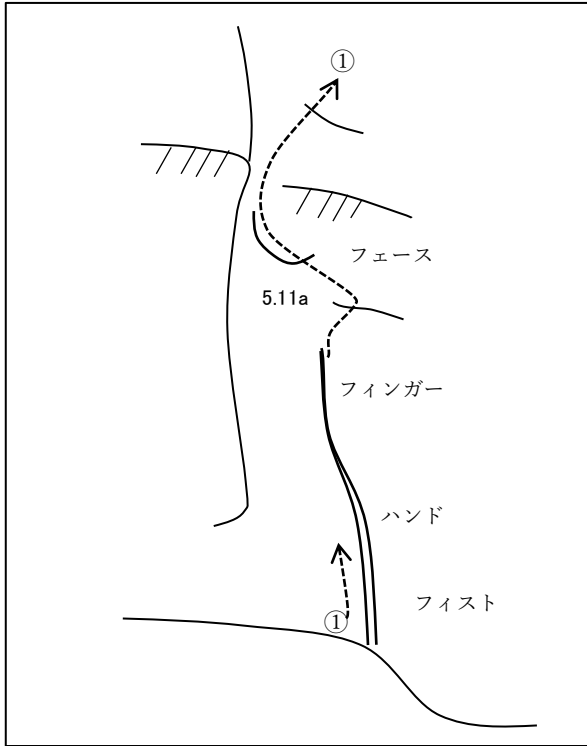
左岸壁の左上から取り付く。クラックを直上する。

(2018/12 南和宏)

⑫ りゅうこつ (5.9 10m C0.3~2 終了点あり)

左岸壁の左上から取り付く。右のコーナーを登る。

(2018/12 南和宏)



ありし日の少年壁

① 豪溪仙人 (5.11a 12m C0.3~4 終了点あり)

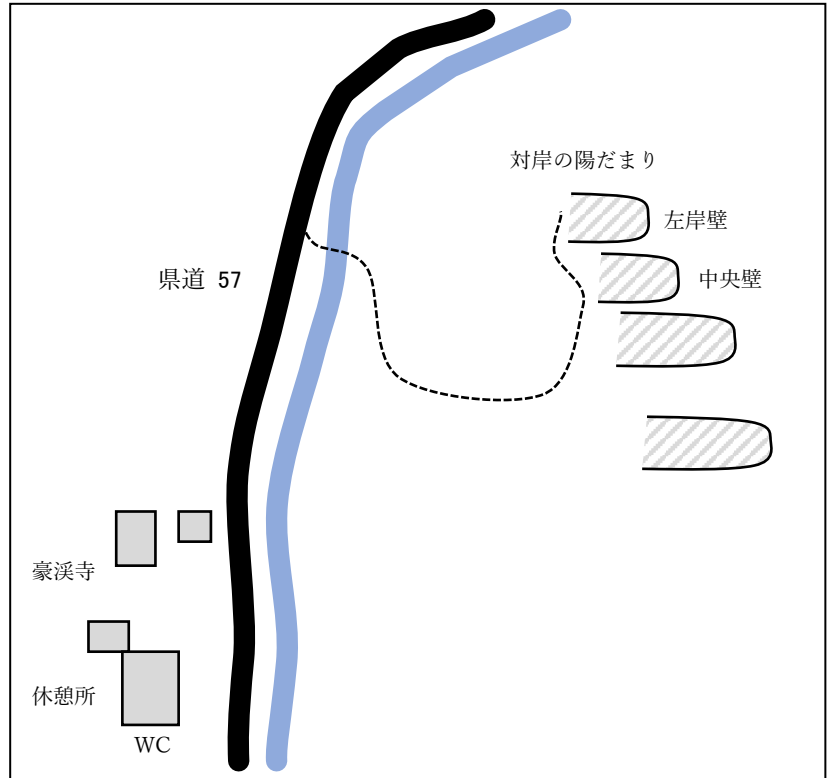
一段上から取り付く。フィストから徐々に狭くなり、切れ切れのクラックとなる。切れ切れのクラックにカムでプロテクションを取りフェースを登る。フェースで、プロテクションを取るのが核心。

(2017/10 木村伸介)

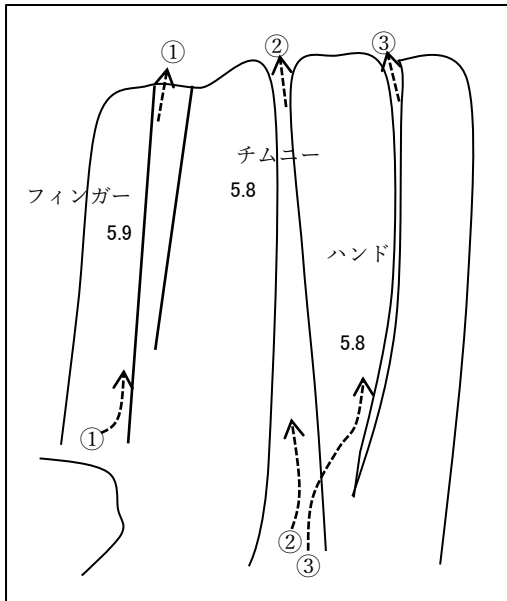
対岸の陽だまり

豪溪寺の対岸に見える岩塔群。豪溪寺の 100m 程上流で川を渡り、右斜上してガレた谷筋にでる。少し直上してから、岩塔群の基部を左に回り込んでいく。県道から約 10 分。

初心者向けの 3 本のルートがある左岸壁と、5.11 台ルートが 2 本ある中央壁がある。南向きのため冬でも暖かい。



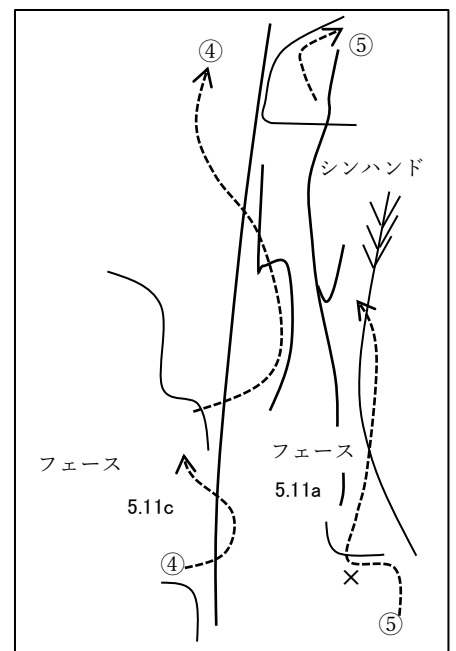
左岸壁



- ① 初めてのお使い (5.9 9m C0.3~2 終了点あり)
左の岩棚からスタート。フェースにスタンスが沢山あり見た目よりも簡単。(2018/12 山本譲)
- ② 先人(仙人)の証 (5.8 10m C0.3~5 終了点あり)
チムニーの入門ルート。上部のチムニーはプロテクションが取れないので注意。(2018/12 木村伸介)
- ③ ファースト (5.8 10m C0.3~3 終了点あり)
②と同じスタートから途中で右のクラックに移る。後は、クラックを登り終了点。(2018/12 森寛)

- ④ キレッキツレ (5.11c 22m C0.3~3 2セット終了点あり)
左の岩棚からスタート。切れ切れのクラックにプロテクションをセットしてフェースを登る。
(2018/12 木村伸介)
- ⑤ 紫の爪 (5.11a 24m C0.3~3 2セット終了点あり)
下部はフェース、ボルトの上の隠れたクラックにプロテクションをセットするのがポイント。中間部は、クラックよりも右側のコーナーを登る。上部はクラック。
(2018/12 木村伸介)

中央壁



謝辞

- ・多くのクライマーに協力いただきました。

井上佳香	表紙のイラストを作成してくれました。
河田純一	ミルキークリフの周辺を驚くほど綺麗に整備してくれました。
木村伸介	新エリアを精力的に開拓してくれました。
木村宏之	仙台から来て、Motive Force を初登してくれました。
佐藤広美	写真のモデルになってくれました。
清水力	鳥取から、わざわざ参加してくれました。
治部剛	Leftovers を開拓してくれました。見事な清掃と初登でした。
多久英作	抜群の行動力のおかげで、終了点を設置することができました。
仲井雄祐	クラックの清掃。さらには、新ルートを開拓してくれました。
野村康寿	お子様誕生で忙しいところ、試登に協力してくれました。
羽原幸士郎	昔と今の両方を知るクライマー。再整備は、見学のみでした。
深谷真明	何度も清掃に、試登にと協力してくれました。
堀有彦	熱中症で倒れそうになるほど、清掃してくれました。一番の仕事人です。
宮原国光	「解放されたエントロピー」の初登メンバー。再整備も見学には来てくれました。
南和宏	「そうりゅう」等の開拓や整備をしてくれました。
森寛	自身初の初登ルート「ファースト」を開拓してくれました。
柳瀬昭史	ブラシではなく、全身でワイドクラックを清掃してくれました。
倉敷芸術科学大学クライミングクラブ	
大杉忠則	顧問の先生です。初トラッドでも、クラブ員とは、一味違う実力を見せてくれました。
板野雅也	3人で、クラブ活動の一環として、再整備に参加してくれました。重い機材を、運び上げてくれました。また、
西口英児	アプローチも整備をしてくれました。整備作業後に、初の外岩クライミングも体験してもらいました。クラブ
皆川拓也	活動の楽しい思い出になり、トラッドファンになってくれれば嬉しいです。

- ・終了点等の資材を提供していただきました。

rocks CLIMBING GYM <http://www.rocksclimbinggym.com/index.html>

- ・境内を横切って入山する許可をいただきました。

天柱山 豪溪寺 <http://goukeiji.jp/>

1980年代に対応していただいたご住職は、お元気そうでした。

再整備では、ご子息の若いお坊様に丁寧に対応していただきました。



岡山県総社市のトラジショナルなクライミングを楽しめるエリア

豪溪クライミングガイド

2020年10月4日版

編集 岡山県山岳・スポーツクライミング連盟所属 岡山フリークライミングクラブ (OFCC)

編集責任者 山本譲

※このガイドは、電子的でも印刷物としても自由にコピー・配布してもかまいません。

ただし、コピー・配布する場合は、表紙（特に「注意とお願い」）を含めて下さい。